

大項目		評価基準	配点		
基本方針	① 事業者状況	組織内にネットワーク・仮想化技術関連の技術者を豊富に有しているか。 本業務作業員に対して個人情報保護・セキュリティ対策の研修や教育などの取り組みが行われているか。 ネットワーク・セキュリティ・仮想化技術者の育成方針および、具体的な教育プログラム（社内研修、外部研修、検証環境の提供等）があり、教育などの取組が行われているか。ローテーション時の対応も規定されているか。あくまで全社レベルのみではなく今回構築・運用・サポートに寄与する範囲にて実効性があるか。再委託する場合は再委託先のものも記載すること。	40		
	② 提案するシステム構成の導入実績	近畿圏（特に滋賀県）の自治体で当市と同規模以上の組織での稼働実績が豊富であり、当市での円滑な稼働が期待できるか。当市と同規模以上の組織での稼働実績が多数あり、当市での円滑な稼働が期待できるか。	40		
提案書の評価	④ ネットワーク構成、セキュリティ対策	通信の仮想化統合や集中一元的管理、冗長構成となど、利便性、安心安全及びセキュアな環境であり、かつ十分な処理の能力を持つ機器構成となっているか。 ネットワークに接続される機器の死活監視が一元的に行え、安定運用が可能な提案となっているか。 最新セキュリティガイドラインに対応したうえで職員の負担軽減となる提案となっているか 最近のサイバーセキュリティにも対応した提案を含んだ提案になっているか。	160		
		⑤ 無線LAN	本業務で構築するネットワークとの親和性があり、それらスイッチ群及びAPを一元的に管理する提案となっているか。 チャンネル・AP配置設計は適切に行われるか。電波干渉を回避可能な提案となっているか。 不正端末の接続を排除し、接続機器の認証が可能な提案となっているか。	90	
			⑥ 可用性・耐障害性要件	障害発生時でも市民サービスへの影響を最小限にする仕組みが提案されているか。 バックアップ/リカバリの仕組みや手順がシンプルで、障害時のダウンタイムが最小限になる様な構成になっているか。障害発生時の対応が明らかになっているか。	50
			⑦ プロジェクト管理方法	プロジェクト管理の考え方や仕様確定手法・業務分析手法が現実的であり、かつ当市に適した手法であるか。	20
	⑧ プロジェクト体制・スケジュール	受託事業者と当市との役割分担が明確であり、かつ当市に負担の少ない負担であるか。 本業務におけるプロジェクト体制が十分であり、かつプロジェクト要員の役割が明確で業務知識・資格が十分であるか。 スケジュールに無理がなく、突発的な問題が発生しても十分リカバリできる計画がされているか。 納品成果物は、提案システムを利用するうえで、必要な種類が提供されているか。		40	
		⑨ 教育・研修		当市のこれまでの情報システムの利用環境を理解したうえで、新しいシステムに対するシステム管理部門への教育・研修計画がされているか。 システム管理部門への教育・運用に必要なマニュアル類の提供があるか。	20
			⑩ 運用保守の考え方	業務継続性（災害時含む）及びシステム品質の確保が十分に期待できるか。 保守運用手法が現実的であり、かつ当市に適した手法であるか。問い合わせ窓口が一本化されているか。 通常運用・予知保全・パッチ適用やバージョンアップ・障害対応・緊急対応に対して迅速かつ適応な提案となっているか。	60
		⑪ 提案するシステムの全体像		当市が求める要求を的確に理解し、適切な構成にて提案しているか。 ユーザ数・端末数・拠点数を十分考慮し、また将来の拡張性にも対応した提案になっているか。 構成する機器において、グローバルスタンダードな技術を採用しており、多くの技術者が対応できる構成となっているか。 構成する機器において、十分な動作検証がなされ、かつ多くの稼働実績があり、またアフターフォロー体制が万全なものであるか。	50
	⑫ 現行ネットワークから移行の考え方			移行工数の低減など当市に負担の少ない提案になっているか。 移行にあたり、手順や注意点、対応策が具体的に示されているか。 移行手法が現実的であり、十分な検証がなされているか。	50
			⑬ 追加提案	今回導入するシステムを活用し、当市からの要求以外の追加提案があり、かつその内容が当市に有益であるか。	20
プレゼンテーション			⑭ プロジェクトマネージャー	プロジェクトマネージャーとして本業務と同規模のプロジェクトの経験を有し、提案するプロジェクト管理手法に精通し本業務を十分に理解しているか。 本業務に対する積極的な取り組み意欲が感じられるか。 要点がまとめられ、説明が判り易いか。	60
	合 計		700		